

L.A. キャリアセミナーを毎年開催しています。このイベントは、JSAの学生だけでなく、南カリフォルニアの日本人留学生全体を対象とした就職支援イベントであり、州内外から多くの学生が参加しています。セミナーでは、各業界からのパネラーによる講演、就職活動についての講演、そして社会人や内定者、ビジネススクール生の協力によるディスカッションなどを行います。このセミナーを通して主催者の私たちは多くの在米日本人留学生のキャリア形成を手助けしています。

●イベント

私たちはさまざまなイベントを通して、学生同士の交流の場を提供し、更には他校のJSAとの交流にも取り組んでいます。4月に行われた運動会は、南カリフォルニアの10校のJSAと2団体が参加の大規模イベントでした。ドッジボールやリレー、障害物競争などの定番の種目で競いました。

(UCLAは残念な結果に終わりましたが・・・) また、同月には、USCのJSAと合同でペイントボールを楽しみました。9月には新しい年ということで、新人がUCLA、そしてJSAに入ってくる見込みです。その際に



JSA運動会での集合写真

は、新しい人と会う良い機会となるWelcome BBQを予定しています。期末テストが終わるころにはパーティ (EQP: End of Quarter Party) を開催し、大人気で学期の終わりを祝います。そして、1月にはJSA最大イベント、スキートリップを行います。

これらの活動を通し、たくさんの良い思い出を皆さんと作っていきたくと思っています。これからもよろしくお祈りします!

問い合わせは、
uclajsa10.president@gmail.com

社会政策 & 社会調査学部卒業生の新刊著書

介護現場の外国人労働者：日本のケア現場はどう変わるのか
塚田典子 明石書店 ¥3800+税、2010年10月1日発行

日本で5年間国家公務員をしたあと、新しい学問である老年学を学びにアメリカへ渡ったのが1990年でした。オハイオ州マイアミ大学で Gerontology (老年学) を学び修士号を取得し、そのあと、UCLAのSchool of Public Policy and Social Research (社会政策 & 社会調査学部) の社会福祉学科で博士号を取得しました。その後帰国して、日本大学グローバル・ビジネス研究科で教鞭をとり始めました。

「少子高齢社会はどの国にも共通する社会問題で、社会保障制度のひずみや、高齢者の能力の活用問題、そして介護マンパワーの問題を引き起こす。」と老年学で学びました。我が国では2006年にフィリピンと、そして2007年にはインドネシアとの間で、「人の移動」を含むEPA (Economic

Partnership Agreement : 経済連携協定) 署名により、制度としてはじめて介護領域に外国人労働者を受入れることが決まりました。

実際の入国は、2008年8月にインドネシアが先陣を切りましたが、本書はその受入れに先立つ2008年3月から4月にわたり、無作為で抽出した全国の高齢者施設2000以上の施設長と介護職員を対象に、外国人介護労働者に関する意識や課題等を調査した結果 (回収率約30% : N=689) をまとめたものです。ワーキングホリデーやインターンシップで、外国人介護労働者を受入れて共に働いてきた人たちの声を交えて、介護現場において外国人労働者と共存する方策について考察しました。これからの我が国の介護を考える一助にいただけたら幸いです。

塚田典子
(1999年UCLA Ph.D. in Social Welfare)
tsukada.noriko@nihon-u.ac.jp

